

齊藤星軒 せいてう せいけん 漢詩人。嘉永四年信濃國松本生れ、明治二十七年九月一日歿（一八一—一九四）。諱順、字洋甫。九歳で藩學堂教官に入る。

明治二年藩命を以て上京、川田斐江、松原涼齋、岡鹿門、岡本黄石等と學ぶ。歸郷後教職二十年。のち晩學塾を開いて子弟を教育、倫理學者吉田靜致、法學者加藤正治（跡號崖水）を出した他、教へ子の一人三宅氏瀧（歌人齋藤瀧）を養嗣子とした。また、卷菱湖の書を學び、日下部鳴鶴、巖谷一八と親交。「晩村樓詩文集」八卷を遺したといふ。